



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社 ニレコ 上場取引所 東  
 コード番号 6863 URL <https://www.nireco.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久保田 寿治  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 裕 光司 TEL 042-642-3111  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月14日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 無  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日~2020年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	1,698	△17.1	113	△62.6	106	△66.9	55	△73.5
2020年3月期第1四半期	2,050	24.6	302	303.9	322	211.5	208	386.0

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 133百万円 (△30.2%) 2020年3月期第1四半期 190百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	7.56	7.46
2020年3月期第1四半期	28.45	28.15

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	14,978	12,882	85.5
2020年3月期	14,937	12,882	85.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 12,799百万円 2020年3月期 12,810百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	14.00	—	20.00	34.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	10.00	—	14.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

## 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,900	△5.4	250	△48.6	250	△50.7	170	△45.3	23.27
通期	8,400	△4.3	600	△37.0	600	△39.4	400	△48.7	54.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 有

## ※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期1Q	8,305,249株	2020年3月期	8,305,249株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	999,295株	2020年3月期	999,295株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期1Q	7,305,954株	2020年3月期1Q	7,327,205株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルスの感染症の感染拡大に伴い経済活動が停滞しました。わが国においても、4月上旬から5月下旬にかけて新型コロナウイルス緊急事態宣言が発出され、経済活動に制約が生じました。

当社グループ(当社及び連結子会社)の主要取引先である鉄鋼、電子部品、化学、半導体、印刷・紙加工、食品など各メーカーの設備投資は、経済活動が停滞する中、慎重な姿勢となりました。

このような状況の下、当社グループは、いかなる環境下においても成長できる体制の実現を目指し、当社グループが設立以来培ってきたセンシング及び画像処理技術の強化に努めるとともに、費用の抑制を図りました。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,698百万円(前年同期比17.1%減)、営業利益113百万円(前年同期比62.6%減)、経常利益106百万円(前年同期比66.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益55百万円(前年同期比73.5%減)となりました。

また、受注残高は3,244百万円(前期末比96.4%)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

なお、前第4四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較分析しております。

## ①プロセス事業

国内外鉄鋼メーカーの設備投資需要減速に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞などをを受けて制御装置などの売上が前年同期比で減少しました。

その結果、当事業の売上高は514百万円(前年同期比45.8%減)、セグメント利益は78百万円(前年同期比72.7%減)となりました。また、受注残高は1,465百万円(前期末比96.7%)となりました。

## ②ウェブ事業

各メーカーの設備投資意欲は6月から回復が見られたものの、全般的な経済活動停滞の影響などにより、主力製品である耳端位置制御装置などの売上が伸び悩みました。

その結果、当事業の売上高は535百万円(前年同期比32.9%減)、セグメント利益は66百万円(前年同期比61.5%減)となりました。また、受注残高は507百万円(前期末比90.7%)となりました。

## ③検査機事業

無地検査装置の売上は、各メーカーが設備投資に慎重となったことなどから減少したものの、選果設備向けなどの食品検査装置の販売が堅調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は338百万円(前年同期比23.0%増)、セグメント損失は15百万円(前年同期はセグメント損失17百万円)となりました。また、受注残高は661百万円(前期末比93.0%)となりました。

## ④オプティクス事業

半導体市場における強い設備投資意欲を背景に、半導体検査装置向けの光学部品などの販売が堅調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は299百万円(前年同期比1262.4%増)、セグメント利益は119百万円(前年同期はセグメント損失12百万円)となりました。また、受注残高は606百万円(前期末比104.8%)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計年度末の総資産は前連結会計年度末に比べて40百万円増加して14,978百万円となりました。

これは主に現金及び預金の増加404百万円、仕掛品の増加325百万円、受取手形及び売掛金の減少749百万円、商品及び製品の減少42百万円があったことによります。

## (負債)

当第1四半期連結会計年度末の負債は前連結会計年度末に比べて41百万円増加して2,096百万円になりました。

これは主に未払費用の増加167百万円、その他流動負債の増加163百万円、未払法人税等の減少142百万円、未払消費税等の減少106百万円があったことによります。

## (純資産)

当第1四半期連結会計年度末の純資産は前連結会計年度末に比べて大きな変動はなく12,882百万円となりました。

これは主にその他有価証券評価差額金の増加91百万円、新株予約権の増加12百万円による純資産の増加があり、一方で利益剰余金の減少90百万円、為替換算調整勘定の減少15百万円による純資産の減少があったことによります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ修正を行っております。詳細につきましては、本日(2020年8月14日)公表いたしました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、当社グループの業績予測は、新型コロナウイルス感染症による事業への影響が2020年秋頃より徐々に回復するとの仮定に基づいております。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,155,436	4,559,835
受取手形及び売掛金	4,116,724	3,366,809
商品及び製品	974,108	931,725
仕掛品	465,252	790,422
原材料及び貯蔵品	493,740	504,745
その他	237,609	253,156
貸倒引当金	△3,444	△1,970
流動資産合計	10,439,428	10,404,725
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,482,213	1,468,160
機械装置及び運搬具(純額)	109,506	121,041
工具、器具及び備品(純額)	105,847	104,143
土地	1,156,596	1,154,308
建設仮勘定	428	—
有形固定資産合計	2,854,592	2,847,654
無形固定資産		
リース資産	12,316	11,630
その他	232,756	222,231
無形固定資産合計	245,072	233,862
投資その他の資産		
投資有価証券	1,004,183	1,120,362
長期貸付金	79,651	76,900
繰延税金資産	154,338	115,653
破産更生債権等	18,704	18,704
その他	199,462	218,517
貸倒引当金	△57,457	△57,725
投資その他の資産合計	1,398,883	1,492,413
固定資産合計	4,498,547	4,573,930
資産合計	14,937,976	14,978,655

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	299,051	292,924
1年内償還予定の社債	14,000	14,000
1年内返済予定の長期借入金	90,192	90,192
リース債務	2,961	2,961
未払費用	434,747	602,308
未払法人税等	208,235	66,163
未払消費税等	143,790	37,382
役員賞与引当金	29,640	5,250
工事損失引当金	39,345	25,632
その他	226,099	389,777
流動負債合計	1,488,062	1,526,592
固定負債		
社債	109,000	109,000
長期借入金	207,095	184,547
リース債務	10,358	9,618
長期末払金	—	26,400
役員退職慰労引当金	74,656	75,235
退職給付に係る負債	166,428	165,228
固定負債合計	567,537	570,029
負債合計	2,055,600	2,096,621
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,072,352	3,072,352
資本剰余金	4,120,511	4,120,511
利益剰余金	6,244,206	6,153,305
自己株式	△701,251	△701,251
株主資本合計	12,735,819	12,644,918
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	110,272	201,836
為替換算調整勘定	43,811	27,971
退職給付に係る調整累計額	△79,031	△74,806
その他の包括利益累計額合計	75,052	155,000
新株予約権	61,480	74,169
非支配株主持分	10,023	7,945
純資産合計	12,882,376	12,882,034
負債純資産合計	14,937,976	14,978,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,050,320	1,698,846
売上原価	1,172,601	1,012,072
売上総利益	877,718	686,773
販売費及び一般管理費	575,569	573,714
営業利益	302,149	113,059
営業外収益		
受取利息	1,315	1,442
受取配当金	18,342	20,840
その他	4,220	5,148
営業外収益合計	23,878	27,431
営業外費用		
支払利息	146	1,049
投資有価証券売却損	—	5,718
為替差損	2,098	4,381
手形売却損	760	239
補助金返還額	—	20,383
その他	529	1,903
営業外費用合計	3,534	33,676
経常利益	322,493	106,814
税金等調整前四半期純利益	322,493	106,814
法人税等	116,962	52,305
四半期純利益	205,530	54,509
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,941	△708
親会社株主に帰属する四半期純利益	208,472	55,217

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	205,530	54,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23,495	91,563
為替換算調整勘定	6,640	△17,209
退職給付に係る調整額	1,892	4,224
その他の包括利益合計	△14,962	78,578
四半期包括利益	190,567	133,087
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,623	135,166
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,055	△2,078



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

## ・税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	オプティ クス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	948,592	798,008	275,227	21,972	2,043,799	6,521	2,050,320	—	2,050,320
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	948,592	798,008	275,227	21,972	2,043,799	6,521	2,050,320	—	2,050,320
セグメント利益又は損失(△)	287,695	171,786	△17,324	△12,770	429,387	317	429,704	△127,555	302,149

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△127,555千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	プロセス 事業	ウェブ 事業	検査機 事業	オプティ クス事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	514,078	535,741	338,608	299,344	1,687,771	11,075	1,698,846	—	1,698,846
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	514,078	535,741	338,608	299,344	1,687,771	11,075	1,698,846	—	1,698,846
セグメント利益又は損失(△)	78,609	66,206	△15,491	119,749	249,073	△726	248,347	△135,288	113,059

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機械部品製作事業、電子機器組立事業などを含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△135,288千円は、各報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第4四半期連結会計期間より、「その他」セグメントに含まれていた「オプティクス事業」について量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。